

基本施策2 地域資源の活用
施策3 自らを高める体験学習の充実

基本施策2 地域資源の活用
施策3 自らを高める体験学習の充実

方針

あらゆる年代の市民が、自らを再確認し、社会性や適応力、発想力及び行動力等を育めるよう、地域の豊かな資源を活用した様々な体験の場を充実します。

現状と課題

市内には、河岸段丘の崖線沿いの樹林地のほか、多摩川や玉川上水周辺の緑、寺社境内地の樹木や草花丘陵の雑木林、農地等の地域資源があります。

市では、水辺・ホタル観察会などの体験型の環境学習や、農業者の協力を得て、栽培技術の指導を受けながら野菜等を育てることができる「農業体験農園」、農業者の話を聞きながら作物を収穫できる「農ウォーク」など、市内の地域資源を生かした様々な体験学習事業を実施しています。

生涯学習や、自らの知識及びスキルを学び直すリカレント教育、「人生100年時代」を見据えた社会人の学び直し（リスキリング）などを通じて、個人の幸福感と社会の豊かさを実現するウェルビーイングの向上が求められています。

市では、「青少年健全育成の日事業」や「ポスターコンクール」、「大島・子ども体験塾」など、子供が豊かな人間性や社会性を身に付けるための様々な事業を推進しています。また、大学と連携した生涯学習講座の実施、羽村市商工会と連携した自己啓発事業「まちゼミ」、市内事業者が講師となり事業所見学等を行う「出前講座」といった、大人対象の体験学習を提供する事業に取り組んでいます。

今後は、子供から高齢者まで、誰もが主体的に学び続けることができる環境整備と、個々の関心やライフスタイルに合わせた多様な事業のより一層の充実が求められます。

【資料3】

基本施策2 地域資源の活用
施策3 自らを高める体験学習の充実

事業の方向性

○市内の地域資源を生かした体験学習事業の実施
普段の生活では体験できない新たな学びを得られるよう、羽村市の恵まれた地域資源を生かした事業の充実を図ります。

○多様な体験学習事業の充実
市民が豊かな人生を送ることができるよう、文化、芸術、スポーツ、生活知識などの多様な事業の充実を図ります。
また、大学等の教育機関や団体・企業などとの連携を強化し、社会体験事業や地域行事を通じて、幅広い学びの場を提供するとともに、社会人の学び直しを支援します。

※ウェルビーイング

- 身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念
- 多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態にあることも含む包括的な概念